

立川市ゼロカーボンシティ宣言

上記の議案を提出する。

令和 7 年 6 月 19 日

提出者 立川市長 酒 井 大 史

理由

ゼロカーボンシティの宣言をするため。

立川市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化に起因する気候変動が世界各地で深刻化し、猛暑や豪雨、台風の激甚化といった自然災害の頻発など、私たちの生命、生活、経済活動に甚大な影響を及ぼしております。

このまま温室効果ガスの排出が増加し続ければ、自然環境や生態系のみならず、私たちの日常生活や社会及び経済の安定性、さらには人類の存続そのものが危ぶまれる事態となることが、科学的知見から示唆されています。

気候変動への対応は、国際社会のみならず、地域社会においても喫緊の課題であり、立川市もその例外ではありません。

この豊かな自然環境と充実した都市機能が調和したまちを次の世代に引き継ぐために、二酸化炭素排出量削減に向け、あらゆる主体が共に歩を進めていく必要があります。

その一方で、地域の実情を鑑みると、脱炭素につながるライフスタイルへの転換や地域人材の育成及び確保、またハード面における整備など、多くの課題が存在することも事実です。こうした現実を受け止め、実態に即したかたちで、市民、事業者、行政が協働し、将来を見据えた実効性のある取組を推進することが重要になります。

立川市は、この地球規模の気候危機に向き合い、環境にやさしく、持続可能なまちづくりを推進し、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを、ここに宣言します。

令和7（2025）年6月26日

立 川 市